



～こころ 伝え～

国立二小だより

平成25年10月1日
国立市立国立第二小学校
校長 川畑 孝久

よさを見つけ、ほめて伸ばす

副校長 齋藤 賢二

学校の敷地内には、コスモスや彼岸花が咲き、吹く風もさわやかで、秋の気配を感じさせます。正に、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、実りの秋の季節になりました。

この夏は、暑さにも増して、日本中で大きな話題となったのが、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催決定です。1964年以来、56年ぶりとなるオリンピック。日本でのオリンピック開催は、1972年の札幌、1998年の長野の冬季オリンピックと合わせて4回目です。長野の冬季オリンピックのときには、ジャンプ団体の応援を、テレビの前で子供たちと一緒に応援したことを、今でも私の記憶に残っています。目の前で世界トップレベルの選手の競技を見ることができると、そして筋書きのないドラマに感動し、熱狂できる日がまた、東京で見られることを想像すると、今からとても楽しみです。

また今年、第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」が、多摩地区を主な舞台として繰り広げられています。この大会を応援しようと、国立二小でも、全校でプランターに花を植え、応援メッセージを書きました。また、5年生はのぼり旗、6年生はフラッグに大きな応援メッセージを書き、会場に飾り、大会を盛り上げています。国立市では、ウエイトリフティング競技が開催され、10月4日には、5年生が観戦、応援に行きます。テレビでは感じる事ができないその場の緊張感や、各都道府県の代表選手が勝利のために真剣に取り組む姿は、きっと子供たちの心に残ることと思います。

私は、先日、世田谷区にある長谷川町子美術館に行ってきました。皆さんもご存知の「サザエさん」の漫画をかいた長谷川町子さんは、幼いころから絵が得意でした。姉と一緒に3歳の頃から絵を描くのを一番好きな遊びとして、ノートを日に4、5冊は描きつづけていました。小学校では、図画と作文が得意。中学生のときに父を亡くし、それまで世の不幸を何一つ知らないで来た家族は、1年間やるきを失い、毎日泣いて暮らすほどでした。1年経って、お母さんがやっと悲しみから立ち直り、町子さんの絵の才能を伸ばそうと考えました。お母さんは、町子さんが物心つくころから「お前たちは立派な天分をもっている。きっと、世の中に認められるようになる。」と励ましてきたのです。町子さんは、そのころから漫画に興味を覚え始め、当時の有名な「のらくろ」で漫画界を背負っていた田河水泡先生の弟子にしてもらおうと、スケッチブックに描いた絵をもって先生の自宅に行きました。先生は、「なかなか上手ですね。明日からいらっしゃい。」と弟子を許されました。漫画はいずれも、まだまだ満足のゆくようなものではなく、ときには自分の才能に疑いをもち、失望落胆もしました。しかし、こういうときに、再び「お前たちは立派な天分をもっている」と、お母さんは励ましてきました。お母さんが、町子さんのよさを見つけ、それをほめて伸ばし、励ましてきたことで、今でもみんなに愛される「サザエさん」が続いているのです。

芸術の秋、スポーツの秋、子供たちには、それぞれすばらしい才能をもっています。そのよさを見つけ、伸ばしていくのは、私たち大人です。将来、今の子供たちが、スポーツや芸術などで、私たちを感動させてくれる日がくることを今から楽しみにしています。

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

主幹教諭

文部科学省が平成25年4月24日に全国の小学6年生・中学3年生対象に実施しました。

本校の結果を全国・東京都と比べると、国語・算数とも平均正答率は上回っています。主として知識に関するものは70%を超える正答率でした。国語では、「言語についての知識」はよくできていましたが、「聞く・話す」に課題があることが分かりました。今後、話の要点を考えながら聞いたり、自分の伝えたいことを明確にして話したりする活動を重点にして、学習していきます。算数は、どの指導領域でも平均正答率が高い割合でした。

今回の結果を今後の学習指導に生かし、子供の確かな学力の向上を図ってまいります。

ごみのゆくえについて調べました

4年担任一同

社会の学習で自分たちが出したごみが、どこで、どのようにして処理されているのか調べました。ごみ収集業者の方にインタビューしたり、クリーンセンター多摩川を見学したり、国立市ごみ減量課の方から市の取り組みについて話を聞いたりしました。それらの学習を通して、ごみを正しく分別して、ごみを減らすことの大切さを知り、子供たちは地域の一員として、自分もごみの減量化に協力したいという気持ちをもつようになりました。そこで、「ごみ減量大作戦」として、日々の生活の中で自分にできることを3つ考え、それを実行し始めました。地域社会をよりよくするために、進んで考え、行動する力を児童に育てていきたいです。

縦割り班活動について

特別活動部

「ぼく同じ班だよ。」上級生が委員会活動をしているのを見て、つぶやいた子供の声。決められた活動の時間以外にも教室に来て声をかけてくれたり、一緒に遊んでくれたりする、自分の、そして自慢のお兄さん・お姉さんたちは下級生の憧れです。

普段は「してもらおう」ことが多い下級生も、10月の縦割りお楽しみ会では、自分たちの役割をもって会に参加します。「どんな会にしようかな。」「どうしたら喜んでもらえるかな。」と一生懸命考えて出し物の内容を決めました。役割を果たすことで「班の一員でよかったな。」との思いが一層強まることと思います。1時間もの長い時間を一緒に過ごすのは初めてですので、準備に戸惑うこともあるでしょうが、実り多い時間になるよう願っています。

給食の時間

給食担当

4時間目終了のチャイムが鳴ると、各教室で一斉に給食の準備が始まります。友達と協力しながら重い食缶を運んだり、素早く均等に配膳したりする給食当番の姿があちこちで見られます。楽しい給食の時間の始まりです。

15分ほどで給食の準備が終わり、どのクラスからも明るい声が響いてきます。給食を食べながらどの子も楽しそうに友達と話しています。おかわりをする子も多く、ビビンバやゼリーなどの人気のおかずは争奪戦です。給食の時間は友達との交流を深める役割を担っているのです。

そして、食べ終わった後は給食当番が片付けを行います。配膳員さんが片付けやすいように気を付けながら、運んできた物を配膳室まで戻す子供たちの姿が目立つようになりました。

毎日訪れる給食の時間が、子供にとって成長の一步となるように引き続き指導していきます。

【人事異動】

- ◆体力向上支援員の田中康平は、10月からスマイリースタッフとして勤務します。
- ◆給食配膳員の蓮田いずみは、9月30日で退職し、10月1日より内藤奈々子が新規採用されます。

◆10月行事予定

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 (火) ブラッシング指導 (3年) | 委員会活動 |
| 2 (水) ブラッシング指導 (1年) | 稲刈り (5年) |
| 3 (木) 歯科講話 (2・4・6年) | |
| | 授業参観・保護者会 (4・5年) |
| 4 (金) スポーツ祭2013観戦 (5年) | |
| | 授業参観・保護者会 (1・3年) |
| 8 (火) 稲刈り (予備日) | クラブ活動 |
| 9 (水) 縦割り給食 (4時間授業・給食) | |
| 10 (木) 避難訓練 | |
| 11 (金) 安全指導日 | 読書旬間 (終) |

◎生活目標…すすんであいさつをしよう。

◎給食目標…決められた時間内に食べよう。

- | |
|---------------------------------|
| 15 (火) クラブ活動 |
| 16 (水) 市教委訪問 市教委訪問研究授業 |
| 22 (火) クラブ活動 |
| 23 (水) 合同授業研究会のため午前授業 |
| 26 (土) 道徳授業地区公開講座
学校関係者評価委員会 |
| 29 (火) クラブ活動 |
| 31 (木) 就学時健診 |